

## 令和2年度 第1回四国中央市水道事業経営審議会要旨

日 時 令和2年11月19日(木) 13時30分～15時50分  
場 所 水道局庁舎 2階 会議室  
出席委員 足達謙二、石川茂、宇田賢司、鈴木義彦、高橋 充、武岡宏明、続木一雄、  
森實清美  
事 務 局 田辺敏文、篠原 健、庄司玉男、石川貴仁、石川照人、鈴木敏弘、石村佳史、  
高橋育夫、井上幸一、大尾裕美  
そ の 他 (株)日水コン 竹田  
傍 聴 者 3名

### 1. 委嘱式

委嘱状を交付

### 2. 水道局長挨拶

### 3. 自己紹介

### 4. 会長・副会長の選任

会長に宇田賢司委員が選出

副会長に武岡弘明委員が会長からの指名により選出

### 5. 会長・副会長のあいさつ

### 6. 議事

#### 議事1 諮問事項

#### **四国中央市水道事業ビジョンについて**

○事務局より説明

○質疑

・委員

技術力の維持向上・組織体制とあるが、水道事業に必要な技術者の人材育成等をどのように取組まれているのか？

・事務局

全国的にも土木技術者が減少。四国中央市全体でも土木技師の採用も少なく、年々技術者が減っている状態。そんな中、中田井浄水場の維持管理を第三者委託している SPC と市職員が年に数回、技術伝承等を目的とする交流をしている。

#### 議事2 報告事項

#### **令和2年度水道事業等の予算及び事業計画について**

○事務局より説明

○質疑

- ・委員  
土居地域遠隔監視システム整備工事は今年で終わる予定か？また、費用2億600万は今年度だけの額か？
- ・事務局  
工事期間は2か年で、費用は2か年分を計上している。土居地域には、14か所のポンプ場・配水池の水道施設があり、本年度は、配水池の流量・水位を監視する項目、来年度は、各ポンプ場の起動操作や水質の監視項目を中田井浄水場で操作が行えるよう整備している。
- ・委員  
資本的収入の企業債の、金利・借入年数は？また、変動金利なのか？固定金利なのか？
- ・事務局  
令和元年度の3月に借入れた金利は0.30%、償還方法は30年償還（5年据置、25年償還）、元利均等償還・固定金利で借りている。
- ・委員  
人口が年々減少している中、給水収益（料金収入）が前年度から増えているのはなぜか？
- ・事務局  
前年度は、三島・川之江地域と土居の小富士長津地区を合わせて水道事業だった数値を入れている。本年度は、土居の土居地区・関川地区・北地区の簡易水道事業と新宮地域の簡易水道事業も足した数値になっており、前年度と比較してプラスになっている。
- ・委員  
新型コロナウイルスの影響で減免処置をしているが、財政的な影響額は？
- ・事務局  
現時点での影響は600万円余りだが、これは企業会計を圧迫するというのではなく、市の一般会計から負担していただけないということで予算組みしていただいているので、水道事業の会計上困るというわけではない。

## 7. その他

### ○事務局より説明

「四国中央市水道事業経営戦略（案）」について

### ○質疑

- ・委員  
健全経営を目指す中で、この経営戦略が出来上がれば将来の世代に借金を先送りしないことがわかるか？
- ・事務局  
平準化を図っていく観点からは、おしなべた形になる。年度ごとの金額については、経営戦略の中でお示ししたい。

- ・委員

借金は減っていく認識でよろしいか？平準化した上で減らしていく？

- ・事務局

今支払っている企業債は過去に整備したものになり、当然今整備する方が単価的に高くなる。ダウンサイジングや施設を減らしていく点では企業債の減につながるが、整備の単価増という点では企業債が将来必ず減ると明言することは難しい。だが、減らしていくよう努めていきたい。

- ・委員

次回の経営戦略の説明の時に、四国中央市水道事業の予算規模での企業債の全国平均や、水道料金が全国や愛媛県で比較するとどの位置にあるかをお示しいただきたい。

- ・事務局

次回までに調べておく。

- ・委員

強靱化・老朽化対策について、優先度の高いものがタイムリーに更新されていることがわかる資料はあるのか？

- ・事務局

水道事業ビジョンを作成する中で、全ての水道施設を調査しており、土木構造物、機械、電気設備、それぞれの設置年数、老朽度、重要度などを点数付けして優先順位を付けていって、更新するようにしている。

閉会